

11月2日

どれにしようかな？楽しい絵本がいっぱい



冊の絵本が積まれており、誰もが思い思いの絵本を手にとっては、友だち同士で読んだり、お母さんに読んでもらったりしながら、楽しいひとときを過ごしました。

参加者の1人は「おはなし隊が来るのを楽しみにしていました」と話し、お気に入りの1冊を見つけて満足そうな子どもをみつめて微笑んでいました。

夢 あふれるキャラバンカーにたくさんの絵本を載せて全国を回る「全国訪問おはなし隊」が来市。永井隆記念館ではなし会を行い、集まった子どもたちを絵本の世界へ誘いました。

「全国訪問おはなし隊」は、「子どもたちが本を楽しむきっかけを作ろう」と講話社が主催する事業で、全国の保育園や公民館などをキャラバンカーで巡回し、絵本の読み聞かせや紙芝居を行っています。

おはなし会には親子など50人が集まりました。スタッフの上手な読み聞かせに、子どもたちはすっかり物語に引き込まれた様子。あつという間に時間が過ぎていきました。お話しを聞き終えると、子どもたちは一斉にキャラバンカーへ。車内にはおよそ300冊の絵本が積まれており、誰もが思い思いの絵本を手にとっては、友だち同士で読んだり、お母さんに読んでもらったりしながら、楽しいひとときを過ごしました。



10月20日ほか

ボランティア活動でふるさとの環境を見つめ直す

雲 南市シルバー人材センターの会員が、ふるさとをきれいにしようと市内各地で清掃活動に汗を流しました。

10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間にあわせて行われた同活動。草刈りや樹木剪定を中心に市内8箇所で行われ、会員187人が参加しました。

10月20日の木次中学校での作業に参加した会員の1人は作業を終えて、「子どもが通う学校の清掃作業に参加できてうれしかった」と穏やかな笑顔で感想を話しました。



11月11日

打ち鳴らせ!!ふるさとの響き 掛合太鼓結成30周年

全 国にその名を馳せる掛合太鼓の結成30周年記念フェスティバルが掛合体育館で行われ、地元関係者や太鼓ファンが結成30周年を祝うとともに鳴り響く太鼓の音に酔いしれました。

記念式典では、掛合太鼓保存会の景山俊太郎会長があいさつ。段ボール箱をたたいて練習した昭和53年の結成当時からこれまでの30年の歴史を振り返り、関係者に感謝を述べるとともに、今後の発展を祈りました。

この日は、掛合太鼓のほか、長野県の「小口大八&御諏訪太鼓」や石川県の「御陣乗太鼓保存会」、市内の太鼓チームなども参加。ステージに花を添えました。

午後4時から5時間に及んだフェスティバル。打ち鳴らされる太鼓の響きは会場を包み込み、観客は見事なステージに惜しめない拍手を送っていました。



10月19日

フレッシュファーム神代 設立10周年を祝う

集 団経営農業の先駆的取り組みを行い、全国からも注目を集める「農事組合法人 フレッシュファーム神代」(三万屋町神代)。設立10周年を祝う記念式典が神代公民館で開催され、地元農業関係者ら約50人が参加しました。

平成10年1月に設立されたフレッシュファーム神代の水稲農業を主軸とした適地適作の効率的農業経営や農産品を加工・出荷する経営安定化策などの取り組みは県内外から高く評価されています。

同法人代表理事の奥田功さんはあいさつで、「組合員の熱意と積極的な取り組みにより、全国から視察者が訪れるほどの成果を得ることができた」と関係者らに感謝の言葉を述べました。

同時に、米価の下落や燃料費高騰、補助金制度改革など厳しさを増す農業情勢にふれ、「集団が一致団結し、神代地区の農業がますます発展するよう努めたい」と決意を新たにしました。



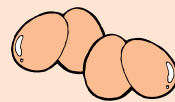
10月28日

たまごかけごはんが生み出す力

た まごかけごはんはにスポーツを当て、日本の食、家族やふるさとに思いをはせる第3回日本たまごかけごはんシンポジウムが吉田総合センターで行われ、訪れた家族連れなどが思い思いにたまごかけごはんを堪能しました。

羽釜で炊く地元産コシヒカリに加え、全国各地の卵に醤油と、厳選素材を取り揃えた屋外会場の「たまごかけごはん吟味会」。ゴミゼロの呼びかけに、茶碗と箸を持参した参加者は、炊きたてご飯に好みの薬味、たまごとしようゆを組み合わせ、オリジナルの一杯を味わっていました。

このほか、津和野町で「アイガモ農法」を営む青木和憲さんの基調講演や、話題の映像クリエイターFROGMANさんとウィーさんいん社長の長谷川陽子さんによるトークセッション、卵の殻を使ったオブジェづくりなど多彩なイベントが催され、会場はたくさんの方の参加でにぎわいました。



10月28日

名所復活 磨石山で健康登山まつり

阿 用地区の名所である磨石山(磨石城跡)を蘇らせ後世に残そうと、阿用地区振興協議会(岩田憲佑会長)の主催で環境整備作業と健康登山まつりが行われました。

10月14日に行われた環境整備作業には、地区役員や若者プロジェクトのメンバーなどおよそ30人が参加。登山道や山頂の除草、雑木の伐採作業などが行われ、数十年ぶりの環境整備に山頂からの眺めも良くなり、見事に名所として復活しました。

10月28日には、きれいに蘇った磨石山で健康登山まつりが開催されました。好天に恵まれ、地区内外からおおよそ100人が参加。地元の子どもたちもたくさん集まり、登山を楽しみました。

山頂では、磨石城(阿用城)の歴史についての講話やゲームを行い、アヨ有機農法塾のエコ米おにぎりで昼食。地区内を一望できる眺めに参加者は「近くにこんなに素晴らしい景色があるなんて、秋のひとときを地元の名所で満喫しました」。

